

京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 宇治茶部会 (部会長 堀井 長太郎)

主な輸出先国	北米、EU (2023年)	輸出実績	500百万円 (2023年)
対象となる地域	京都府京都市・宇治市・城陽市・久世郡久御山町・八幡市・京田辺市・綴喜郡井手町・宇治田原町・木津川市・相楽郡和束町・南山城村・綾部市・福知山市・舞鶴市・京丹後市		

輸出産地の概況

- ・京都府では日本茶の高級ブランドとして確立されている「宇治茶」の生産を行っており、平成22年、京都府は輸出に取り組む府内の生産者等を構成員として「京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 宇治茶部会」を設立。
- ・宇治茶の輸出促進に向け、輸出用宇治茶の生産拡大促進、販路開拓、PR活動等を実施し、海外での宇治茶の需要拡大を図っている。



輸出実証圃の茶の品質を生産者が互いに審査



宇治茶輸出研修会の風景

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・北米・EUの残留農薬基準に対応するため実証実験を実施し、防除体系のブラッシュアップを行っている。
- ・生産者や茶流通業者、関係機関等を対象とした「宇治茶輸出研修会」を開催し、輸出の現状や課題、方法について産地全体で共有。



海外展示会での意見を元に開発した輸出向け新商品

アピールポイント

★宇治茶産地は古来からの伝統を維持しつつ、時代に合わせて変化しており、生産者、茶商業者等の技術の高さが誇りです。